

令和6年度第1回静岡県地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時 令和6年6月18日(火)

14:00～16:00

場 所 県庁西館4階第1会議室
(オンライン併用)

出席者 委員名簿のとおり

1 開会

監事、座長の指名

→座長1名(名城大学工学部 松本教授)

監事2名(焼津市 白石建設部長、小山町 室伏副町長)

2 議事

(1) 令和5年度決算報告について

(2) 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について

(3) 評価委員会の設置について

3 報告

(1) 地域公共交通確保維持改善事業及び地域公共交通計画第三者評価委員会について

(2) ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて

4 会議の内容(議事要旨)

【議事1 令和5年度決算について】

事務局より資料1の説明

(道路局 杉山代理)

○資料1の国補助金について、国の補助率はどうなっているのか。

(事務局)

○補助率は補助対象経費に対して1/2である。

【議事2 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について】

事務局より資料2、資料3の説明

(中部運輸局 勝山代理)

- 実施が見込めない国の取組として「モビリティマネジメントの推進」が挙げられているが、公共交通の利用促進は、毎年情報発信はしているので何もやってないということはない。そこは御留意いただきたい。
- 今年度の県の取組として、地域間幹線補助や自主運行バスへの補助が挙げられていない。核となる取組だと思うが、この取組を記載していない意図は何か。

(事務局)

- 「ハッピーライド in 静岡プロジェクト」の実行委員会にも参画いただいております、何もやっていないわけではないということは重々承知している。当資料を作成するための照会において、この取組だけ今年度の内容が記載されておらず、この体裁で整理したものについても異論はなかったと認識している。
- 今年度に県が取り組むべきものは多数ある。本協議会の資料として全てを掲載すると何ページにも及んでしまうため、特色ある取組を抽出して、1ページにまとめている。

(座長 (学識経験者 松本先生))

- やっているということであれば、本資料を修正 (削除) してほしい。

(学識経験者 宇都宮先生)

- 県の取組で今年度実施できないという説明あったが、実施できないという以上、なぜ実施できないか説明する必要がある。
- MaaS やDXといった踊った言葉ではなく、公共交通の利便性向上に向けた取組は、他県の事例をしっかり勉強することを今年度からやるべき。

(事務局)

- 計画策定時には幅広に取組を挙げていたが、実際には今年度予算が十分確保できなかったことが、今年度実施が見込めない理由である。来年度に確実に実施できるよう予算確保に努めるとともに、費用を伴わないやり方を検討するなど、工夫して早期に実施できるよう努めたい。
- 先生の御意見を踏まえて、対応できるよう調整したい。

(座長 (学識経験者 松本先生))

- 今年度予算の折衝は、まだ計画が策定できていなかったもので、予算確保が難しかったことは理解できる。来年度予算の折衝は計画が策定できているので、予算を十分に確保できるよう期待する。
- 「利便性向上=サービス向上」なので、ハッピーライドもサービス向上の取組になりうる。

交通手段としてのサービスを向上することは非常に難しいことはわかっているが、そういう姿勢を持ち続けて、できるところから試すということが必要。「交通空白地における交通手段に関する調査」は、新知事の思い入れが強いのであれば取り組むべきではないか。

(会長 (望月都市局長))

○冒頭の挨拶で申し上げたとおり、知事がこのことについて発言しているので、しっかりと取り組んでいく。

(座長 (学識経験者 松本先生))

○現時点では実施が見込めないと書いているはあるが、おそらく県としてこれは取り組んでいくだろうということだと思う。それを全くやらないという意味ではないというふうに御理解いただければよろしいかと。

(中部運輸局 勝山代理)

○富士急バスのスマートバス停はどういう施策か。

(富士急バス 土橋代理)

○デジタルサイネージを使ったリアルタイムのバス運行状況の表示である。まだ導入できているのは1箇所だけ。多言語化にも対応しており、外国人観光客に好評をいただいている。

(学識経験者 鈴木先生)

○実施が見込めない取組は、令和6年度だけでやるような設定にはなっていない。今年度は確かにスタートができないかもしれないが、例えば、「交通空白地における交通手段に関する調査、検討」や「県内バスマップを集約したHPの構築、更新」は、その前段階の作業は準備が進められると思う。

○利源性向上について、今資源に限られてるということは事実なので、ボリュームだけの問題じゃないということをもみんなに認識してもらう必要がある。例えば、本数を増やすこともできるならやればいいことだが、そのボリュームを大きくすることだけが、サービスではない。他社との接続を考慮したダイヤの編成など、いかに知恵を出して最適な利用環境を作っていくかということも、サービス向上に十分繋がる。

(会長 (望月都市局長))

○利便性の向上については、地域の実情によっていろいろなやり方がある。本協議会の下にそれぞれの地域分科会があり、各市町には地域公共交通会議があるので、そこで各当事者の皆さんが知恵を出しながら、解決に向けて進めていただきたい。

- 今年度実施が見込めない取組について、予算というのは翌年度の予算を夏ぐらいからセッションが始まる。計画ができたのが今年の3月だったので、この計画に基づいて、こういう政策をやりたいというのは予算のセッションときにできなかった。来年の予算に向けてはしっかり計画に基づいて、予算の方を要求してまいりたい。また、昨年度に、県議会にも集中審議をする特別委員会が作られ、3月にはそこから提言をいただいている。ほとんどの提言が地域公共交通計画に反映されているが、議会の方からも追い風として、この政策の推進に向かって取り組んでまいりたい。市町の皆様方それから交通事業者の皆様方、みんな一緒になって取り組んでまいりたいので、御協力をお願いしたい。

(座長 (学識経験者 松本先生))

- 今回、実施が見込めない取組という資料は作成しているが、実際に今年度行われそうなものがあれば修正していただきたい。最終的には、自己評価で1年後に年度の評価をする。
- 国の「モビリティマネジメントの推進」は、国で取り組んでいるということで削除を。
- 県の「交通空白地における交通手段に関する調査、検討」は、今日の講演も含めて、何らかの取り組みは始まるだろうという意味で再考を。
- 市町あるいは事業者においても、ここに取り組めないということで位置づけたが、もし実施あるいは検討が始まりそうであれば、そのことを事務局に報告し、修正があるということ的前提として、承認することとしたい。

【議事3 評価委員会の設置について】

事務局より資料4、資料5、資料6の説明

(道路局 杉山代理)

- 資料6の西部地域分科会の構成員として浜松土木事務所が道路管理者として入っていないのはなぜか。
- 静岡市と浜松市は道路管理者としての表記をしていないが、道路管理者としての視点でも見ていただけているという理解でよろしいか。

(事務局)

- 地域分科会の構成員を検討した際にどのような議論がなされたかわかりかねる。経緯を確認したい。
- 両政令市は道路管理者の表記はしていないが、道路部局とも情報共有をしていただき、道路管理者としての視点でも見ていただいていると認識している。

(座長 (学識経験者 松本先生))

- 何らかの経緯があると思うが、今一度御確認いただいて、必要であれば修正をしてほしい。

【報告1 地域公共交通確保維持改善事業及び

地域公共交通計画第三者評価委員会について】

事務局より資料7の説明

(中部運輸局 勝山代理)

- 評価の仕組みを具現化したのが今回の評価委員会であり、それから引き続き各市町の協議会の場で県の評価をしっかりと共有していただく。そのような取組のサイクルがとても優れている仕組みだと思う。計画にはそこまで細かく書いてないが、しっかりとそのやり方を引き継いで、確実にやっていただくと良いと思う。地域分科会も機動的に招集して、必要な検討がなされるとよい。

(事務局)

- 計画にそこまで具体的には書いてないというのは重々承知していたため、今回、評価委員会の説明において、PDCAを時系列でどのように行うのかということを示し、皆様におわかりやすくなるよう工夫した。

(座長 (学識経験者 松本先生))

- 静岡県は、幹線系統に関しては毎年カルテでしっかりと各自治体と共有されている。すごくいい取組だと思うが、明確に計画の中に位置づけができていないのがもったいない。

【報告2 ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて】

事務局より資料8の説明

(学識経験者 鈴木先生)

- 非常に良いことだと思う。県内全域が対象になっているのは恐らく初めてのケースなので画期的なことだと思う。ただ、無料にすると利用者が増えてバスが混雑し、時間通りに走らないケースが増える。そうすると、普段の乗ったことのない人が、あまり快適でなく時間通りに走らないことを体験することになってしまう恐れがあるので、事前に想定して考えておいた方がよいと思う。
- 添付されているチラシは、県民に向けて発信するときには、もう少しアピール力のあるデザインにした方がよいと思う。

(事務局)

- イベント開催によるマイナス要因というところまで、まだ思いが至らないところがあった。こうしたご意見があったことを実行委員会の中でも共有して、その中でマイナス要因を含めて実際のオペレーションをどうするのか検討してまいりたい。
- チラシについては、これからデザインも含めて、より良いものにブラッシュアップしていきたい。

(座長 (学識経験者 松本先生))

- これまで、県内のバス無料デーで混雑したのか。

(しずてつジャストライン 藁科代理)

- 静岡市内限定で小学生無料デーを実施をして、通常の土日と比べると大幅に増えているが、それによって大きな遅延等が発生することはなかった。今回は、実施予定日が2日間に跨がっており分散すると思うので、それほど心配する必要はないのではないかと個人的には思う。

座長 (学識経験者 松本先生))

- 他のバス事業者はどう思うか。

(富士急モビリティ 櫻井代理)

- 弊社の営業エリアでは、小学生の利用は少ないので、混雑しないと思う。

(富士急バス 土橋代理)

- 無料デーは初めてなので、予想できない。

(富士急シティバス 根上代理)

- 小学生は定期を持っているので、無料デーで混雑する可能性は低いと思う。

(学識経験者 宇都宮先生)

- 事後検証は、関係するデータをしっかり取ることが重要。単に、何人乗りましただけではなくて、例えば、こういったところに人出が増えたとか、それによって渋滞が減るとか、そういうデータが取れるとよい。今回の無料デーでどこまで検証できるかわからないが、今後の仮説も含めて、しっかり練って実施していただくとよい。
- 参考に、オーストリアでは、オーストリア全土のあらゆる公共交通を1年間無料で移動できるチケットを、18歳から21歳の間、配られるという仕組みが今年からできた。大人は、1日3ユーロのチケットを買って、ありとあらゆる公共交通が乗れる。いずれにして

も、公共交通は使ってみると便利だと、人々に知らせていくことが重要なので、このプロジェクトも、ぜひデータ面も含めた検証を意識しながら、進めていただきたい。

(事務局)

- 効果検証は非常に難易度が高い。現時点では、各学校に協力してもらい、小学生にアンケートに答えてもらうような形を想定している。日頃からバスについてどのような意識を持っているのかという意識の部分を幅広く聞いて、実際に無料で使ったかどうかについても聞いて、更に前後の意識の変化など、そういったところも聞いていきたい。現在、効果検証のやり方を詰めている段階である。

座長 (学識経験者 松本先生)

- 人数のカウントは予定していないのか。

(事務局)

- 最低限必要となるサンプル数を収集して、利用者数を推計することを検討している。

(学識経験者 宇都宮先生)

- 小学生だけでなく、親も含めて、周りにどのような効果があったかを幅広く検討すべき。

座長 (学識経験者 松本先生)

- バス事業者は、乗ってきた客が小学生かどうかをどう判断するのか。

(しずてつジャストライン 藁科代理)

- リーフレットのなものが教育委員会を通じて小学生に配布され、それをバスの運転手に見せていただければという方向で調整されていると聞いています。

座長 (学識経験者 松本先生)

- ちなみに、ドライバーさんにそれをカウントしていただくのは厳しいか。

(しずてつジャストライン 藁科代理)

- 今回こういうやり方で調整されているのは、できるだけドライバーに負担をかけず、安全な運転に従事していただくためにというふうに伺っている。

座長 (学識経験者 松本先生)

- なかなか難しいと思うが、やはりこういう取組は効果をしっかり計りながら、次へのステップを進めていく、エビデンスに基づいてステップを踏んでいくのが大事なので、やりつ

ばなしよりは何かを明確に数値として捉えていくことができればよい。なお、愛知県東三河地方では、夏休み期間中に、小学生は50円で乗車できるイベントを行っている。その乗車人数は全てカウントされ、毎年報告されている。今年度は無理だとしても、人数をカウントできるようにしてほしい。

- 多くの小学生に乗ってもらえるよう、相乗イベントを実施したらどうか。愛知県東三河地方の小学生50円バスイベントでは、クエスト（謎解き）や整理券ラリーも同時に行っている。子供たちの目的作りも一緒にやっていただければよい。

（静岡市 松浦委員）

- 相乗イベントを開催することで、効果検証を妨げることを心配している。

（学識経験者 鈴木先生）

- 無料バスに乗ったか、乗らないかというデータを全数取ることはできないか。

（事務局）

- 学校の協力次第なので、学校へのはたらきかけをしていきたい。

座長（学識経験者 松本先生）

- 無料イベントを知っていたか、知らないかというデータも取れたらよい。